

別紙様式 2 号

2. 整備事業  
I 産地競争力の強化を目的とする取組用

(岡山県 平成20年度)

市町村名	事業実施主体名	政策目的	取組の分類	作物等区分 (対象作物・畜種等名)①	政策目標①	成果目標の具体的な内容①	事業実施後の状況①										作物等区分②	政策目標②	成果目標の具体的な内容②	事業実施後の状況②										事業内容 (工種、施設区分、構造、規格、能力)	事業費 (円)	負担区分 (円)				完了年月日	事業実施主体の評価	都道府県の評価	備考			
							計画時 (平成18年)	1年後 (平成20年)	2年後 (平成21年)	3年後 (平成22年)	4年後 (平成23年)	5年後 (平成24年)	目標値 (平成24年)	達成率	計画時 (平成18年)	1年後 (平成20年)				2年後 (平成21年)	3年後 (平成22年)	4年後 (平成23年)	5年後 (平成24年)	目標値 (平成24年)	達成率	交付金	県費	市町村費	その他													
																																達成率	達成率									
奈義町	(有)協和養豚	産地競争力の強化	産地競争力の強化に向けた総合的推進	豚肉	生産性向上	肥育豚1頭あたり労働時間を23%以上削減	1.212hr		0.390hr	0.346hr	0.346hr	0.380hr	0.351hr	96.6%		豚肉	需要に応じた生産量の確保	20.10%	-	-	27.70%	23.10%	34.10%	35.50%	90.9%	20.10%	-	-	27.70%	23.10%	34.10%	35.50%	90.9%	106,018,500	50,485,000	0	0	55,533,500	H21.7.10	近代的なシステムを導入した豚舎建設により労働力の削減が図られ、外食産業への流通割合も関係機関と連携を強化したことで目標がほぼ達成出来た。	労働力の削減により生産コストが低減された。外食・加工仕向割合の増加により、岡山県豚の高付加価値化に寄与した。	

都道府県平均達成率	93.7%	総合所見	事業開始年度と比べ、配合飼料価格高騰により経営状況は非常に厳しいものとなっているが、コスト低減に積極的取組み、経営の安定を図るよう、関係機関と連携し指導を図っていきたい。
-----------	-------	------	---

- (注) 1 別紙様式1号の2のIに準じて作成すること。  
 2 要領第1の1の(2)の(ア)から(ウ)の場合にあつては、事業実施後の状況の欄を追加し、記入すること。  
 3 別添として、各事業実施主体が作成した事業実施状況報告書を添付すること。  
 4 「事業実施主体の評価」欄と、「都道府県の評価」欄については、評価の対象となる年度のみ、それぞれの所見を記入すること。  
 5 「総合所見」欄については、評価実施年度の取組について、都道府県全体の総合所見を記入すること。  
 6 「都道府県平均達成率」欄は、都道府県において事業実施地区で掲げている成果目標毎の達成率の平均値とする。